

12月1日 この季節は日中が一番短い時期で早朝5時 そとは真っ暗です。いつもなら365日開店休業でサンデー毎日の私は、夢の中に遊んでいる時間ですが 乗車予定は（6時5分）明石信金前で岩佐さんが保管してくれ、道中ノドを潤してくれる飲み物を積み込むため早めに来たのですが彼が準備して待っていてくれた。楽ちなり、サンキュー

途中（旧プリンスホテル前）－徳島駅前－いつもは鳴門で乗車の参加者も、とくとくターミナルで乗車、時短にご協力願ひ藍住－脇町で3名、これで全員乗車 八幡浜港まで高速道約230キロ、チョイ漏れの予防に2回トイレ休憩、大洲南インターで高速を降り八幡浜港へ→

八幡浜は、四国では有名なミカンの生産地で港に行く道中、ミカン畑に袋かけした園がありなんというミカンですか？とガイドさんに聞いてみるがノーガイド、勉強しといてね、12時前、宇和島運輸フェリーに乗船→約2.5時間→臼杵港、九州島に上陸 大分道で→湯布院民芸村へここで約2時間散策 民芸館で藍染めの講義を聴き僕らは阿波の藍染めの本場藍住村のもので、あーそうなの… ということで大笑いで話しあいました。

今夜の宿は鉄輪温泉ホテル山水館10、11階に分宿 アホと煙は…何とか言いますが私はその上にドがつく方なのですが…。10階から見る別府湾がズイーと見渡せ良い気分でした。

2日目 翌朝の空模様は今にも雨が落ちてきそうな状況なり。本日の観光目的第一番目は阿蘇、瀬の本高原、草原にはもう緑はなく牛馬の姿もほとんど見えない。今見えるのは高原全体の枯れすすき 高原道路をドライブすれば人間より牛馬が偉いんです？所どころに牛馬優先の看板がある、人間様より牛馬様が上位ですよ、控えおろう 高原より下だりみち、畑を見ればさすが火山国、噴火

の灰が集積した黒い農地見えています。熊本は赤ウシ、大分は黒ウシが多く飼育されているとガイドの説明をうける。次の観光地高千穂峡、神秘的というか自然が作った景観なり。次に天岩戸神社、神話の世界入り込む、天孫降臨、天照大神さまのお話、もったいなくて頭を垂れていたのになにも見えず記憶になく報告できませんごめんなさい。つぎは、このたびの旅行のメインである阿蘇山頂をロープウェイにより山頂へ、火口見物ができるはずであったが強風によりロープウェイが動かず残念至極なり。内牧温泉阿蘇プラザホテルで2日目の寝ぐらとする。

3日目 最後の日程 ホテルを8時に出発 九重夢大吊り橋に9時半頃到着、生憎と少し雨が落ち風もちよっとね、そこで皆さんカップパを買準備して橋を渡らんとすればあら不思議、昨日の天の岩戸神社参拝のおかげを受けて雨風も静まり皆さん元気で無事往復できました。カップパ代損しちゃった。

この橋を渡るには団体割引で450円 長さは390m 高さ173m

橋の完成は平成18年 橋梁に20億円かけて造ったそう。今私たちが通るのは平成22年12月3日です、5年間で、もう完済できたんだって、ガイドさんのガイドです。

金余り 使い道に困っている あなた、どこかでやってみたらいかが。帰途 乗船前に別府海鮮市場に寄った、境港の市場のように海産物が満載と想像していたのがっかりしました。参加者の皆さんゴメンネ フェリー乗船 臼杵港後にして1時間八幡浜港に近づき佐田岬半島上に風力発電塔が見え、数えれば20塔余りが勢いよく仕事していました。17時前八幡浜港に着くこれからは来た道を忘れずに全員元気で帰徳しました。有り難うございました。

